

『春はお別れの季節です』の巻

前回までのあらすじ……………

中央図書館空調工事のあと、開館して初めての「そも図書」で一す。少なくとも3人は読者がいることがわかりました。「お待たせ！」



わくわく展示ブース。中央図書館に来たら、ぜひ見てくださいね!

登場人物紹介



図書館職員。
毎年「花粉症か?」とドキドキしています。



ベガサス。
中央図書館の休館中帰省してきました。美家はギリシヤです。



高校生。
2年間、ありがとうございました。神栖に帰省した折には図書館に寄ります★



中学生。
2年間、お世話になりました。ベガちゃんの母さんがメテューサなことにつくへり。



新章、開始

一か月後

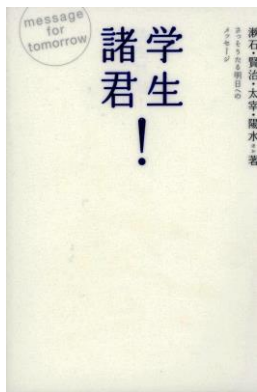
今月のコレ読も!!

「卒業するきみに、贈る本」

3月です！支配から、ぬるい居心地の良い場所から、なにかしらから、卒業する月です！

尾崎豊も「あと何度自分自身卒業すれば本当の自分にたどりつけるだろう」と『卒業』で歌っています。

本を読んで、いろんなものから卒業してください。がんばれ。



『学生諸君！』

宮沢賢治、太宰治、井上陽水…明治から平成の文豪からの、大人には眩しくて仕方がない、若者たちへのメッセージ。
「諸君の未来圏から吹いて来る 透明な清潔な風を感じないのか」
いい言葉ですねえ…

光文社（159ガ）



『春にして君を離れ』

中年の女性が、遠出の後、家に帰る途中、自分と家族を考え続ける話。ミステリー系の女王・クリスティーの小説ですが、殺人も、犯罪もありません。ですが、解説の作家・栗本薫氏が言うように、「(成育歴によっては) 耐えられないほどの哀しみと恐ろしさにみちた本」なのです。

アガサ・クリスティー著 中村妙子訳 早川書房（BFアガサ）

予約のできるコミックです！



『コウペンちゃん』 『もっと！ コウペンちゃん』

あなたのすべてを肯定してくれる皇帝ペンギンの赤ちゃん「コウペンちゃん」。
『寝て起きたの？すご〜い!!』寝て起きただけでほめてくれるよ！自己肯定感うなぎのぼり！

るるてあ著 KADOKAWA（726ル）



『サクラ咲く』

昨年の本屋大賞を受賞した『かがみの孤城』の作者、辻村深月による中学生を主人公にした短編集。貸出表から物語が始まるのですが、映画『耳をすませば』もそうですし、図書館・図書室のファンタジーですね。現在では貸出しはパソコンです。貸出記録も残りません。

辻村深月著 光文社（YFツジム）

セルフ貸出機を 導入しました！

Felica (フェリカ) が 使えます！



★簡単な操作で、図書・雑誌を自分で貸出し手続きすることができます！

※CD・DVDの貸出し、予約資料の受け取りは従来通りカウンターで手続きしてください。

★Felicaを登録すると、貸出用の利用カードとして使えます。

※セルフ貸出、Felicaは図書館のみのサービスです。くわしくは、図書館のHP、カウンターで聞いてね。

